

コミュニケーション分野 | イベント・ワークショップ(継続) 262
木育ひろめ隊
 (株)明石住建



概要
 木に触れることによって、子ども達の感性や思考が育まれ、五感を発達させる。木の球と積み木を色々なものに見立て、独創性のある遊びをする。積み木で作上げたモノは達成感や成就感も身に付く。活動を通じて人との新しい出会いやコミュニケーションを学ぶ場として子どもはもちろん、親も自然に他人から友人になれるような地域をつなぐ場を提供しながら、一人ひとりの個性や思考、創造性の育成に役立ちたい。親たちも子ども達の新たな一面を知り、木の良さを再確認できるきっかけになると思い活動を続けている。

◆http://www.akashi-j.co.jp/category/event/event_report03.html

評価ポイント 木の球プールや木製おもちゃを子育ての現場へ貸し出し、木に触れ遊ぶ機会を提供している良質な取組。幼児期から木の良さを実感できる仕組みが良い。

コミュニケーション分野 | イベント・ワークショップ(継続) 263
あづみの再活の松プロジェクト
 あづみの再活の松プロジェクト



概要
 松枯れ材を含むアカマツを利用した木工教室や木工品の製作展示など「松枯れ」に関する取組を地域の皆さんと行い、木に触れ合うことで森林に関心を持ち、森林の重要性、資源の大切さを再認識し、緑豊かな森林を未来に引継ぐことを目的とした取組を実施しています。枯れてしまった松を木製品として再活用することから「再活」を「さいき」と読み、樹木としての命は終わってしまいましたが、木製品として再び生きることによって再起を回り、アカマツの良さや大切さを忘れないよう思いを込めています。

◆入手先:あづみの再活の松プロジェクト http://blogs.yahoo.co.jp/saiki_matu

評価ポイント 地域の歴史の一部であるアカマツを起点にした活動である。松枯れ材を活用した活動や製作を通じて、街と森の関係を考え、問題解決の意識を醸成させている。

コミュニケーション分野 | イベント・ワークショップ(継続) 264
森のねんどの物語展
 岡本道康



概要
 「森のねんどの物語」は、割り箸を作るときに出る木屑をねんどにしたいと想うコトから始まりました。美しい森、山を守り、森から木を集め、製材所で木を整えて、整えた端材は製箸所へ、「毎日沢山の木屑を燃やしているんだよ」と聞いて「もったいないな〜」と、森のねんどを作ることになりました。吉野杉は節が無くて色白で、やわらかく衛生的、美しい木屑は人形の顔を作るのにとても合う。森のねんどは、地域の土地から作りだされるねんど。この全ての繋がりが森のねんどの出来るまでの工程で物語。

◆価格:ねんど500円 ワークショップ1000円から、問い合わせ:<http://dekikoto.com/>

評価ポイント プログラムとしては従来型であるが、プロダクトのデザインクオリティが高い。森林資源と地域の人の関係を伝える物語性を持つ。

コミュニケーション分野 | イベント・ワークショップ(単発) 259
国産間伐材を活用した復興デザインマルシェ用出展ブース
 KDDI(株)、(有)小泉設計室



概要
 東日本大震災で被害を受けた東北地方と茨城の復興支援を目的に、本年3月に東京ミッドタウンにて「復興デザインマルシェ2015」を開催。出展ブースには、秋田の間伐材を国内の流通サイズのまま使用できる仕器を考案。イベント終了後は短時間で解体でき、間伐材を再利用できるように工夫した。部材を気仙沼に運び、漁港でのマルシェに再利用、さらに東北ツリーハウス観光協会への寄付を通じて、恒久的なツリーハウスに生まれ変わった。

◆仕様:683×1,800~3,600×721mm (1,200mm毎に鉄の脚が必要)、入手先:有限会社小泉設計室 <http://www.kddi.com/corporate/csr/torisai/>

評価ポイント マルシェそのもののデザインクオリティが高い。可動性を予め織り込んだ仕器開発で、継続的な取組に役買っている。

コミュニケーション分野 | イベント・ワークショップ(単発) 260
木とあそぼう 森をかんがえよう with more trees
 一般社団法人more trees、森ビル(株)、more trees design



概要
 赤坂のアーキヒルズにて、森を感じるファミリーイベントを2015年5月4日~6日に実施。親子で楽しく木のおもちゃで遊べるプレイエリア、木工のワークショップ、国産シカ肉を使ったジビエバーベキューなど、都心でのんびり森にふれあえる多くのコンテンツを提供しました。都市に生活する人々にとって、木や森はどうしても遠い存在になりがちです。そこで、あえてアーキヒルズという都会のど真ん中を舞台にこうしたイベントを実施することで、より多くの方に「気づき」を持ってもらいたいと考えました。

◆<http://www.arkhills.com/event/5215.html>

評価ポイント 都市と森をつなぐプログラムである点に意義がある。参加者の興味・関心を引き付けるデザインの良さが目を引く。

コミュニケーション分野 | イベント・ワークショップ(単発) 261
水都・柳川の駅前整備における“学ぼう!作ろう!モノづくりワークショップ”
 柳川市、柳川市立藤吉小学校 育友会 父親委員会



概要
 平成27年4月、観光都市・柳川の玄関口となる西鉄柳川駅は、装いも新たに八女杉をふんだんに利用した駅に生まれ変わりました。水郷・柳川には、山がありませんが、山(矢部川水系)と海(有明海)の恵みと人の技術(堀割)によって築かれてきた、山と海をつなぐまちです。ワークショップでは、次代を担う子どもたち(地元・藤吉小学校父親委員会の親子)が、このまちのことを学び、モノづくりを体験し、駅前整備に参画しました。“杉フェンス”や“杉バンコ(ベンチ)”、“屋台”を約半年かけて製作した取り組みであり、現在も駅前を舞台とした活動が続けられています。

評価ポイント 自分たちがつくったものが街の中に残り、人々に使われる光景を見ることができるとは大切。個人完結型でない点を評価。

コミュニケーション分野 | 普及・啓発(ツール・メディア) 257
木のパズル「心から」
 (株)大崎材木店



概要
 杉の年輪を組み合わせるパズルです。シンプルながら案外難しいので、ガイドに番号シールを貼りました。並べ終えたら反転して頂いて、番号順に並んでいれば正解です。慣れてきたらシール無しでお試ください。またまた難しくなります。年輪は自然のパターンで、似ているけれど同じではない。木と遊んでみてください。丸太の中心を心(しん)といいます。ジグソーパズルなら周囲から始めるところですが、年輪パズルのヒントは中心から並べること。心(こころ)から合わせよう、なんか良い響きです。

◆仕様:キューブ型・バウム型、価格:近日発売、入手先:当店・今後照会予定 <http://www.e-house.co.jp/osaki/>

評価ポイント 年輪合わせを通じて、木の成長や時間を感じさせるパズル。素材とのコミュニケーションを形にしており、素材だが意外と難しい。

コミュニケーション分野 | 普及・啓発(ツール・メディア) 258
頼朝杉製二胡「和胡」
 ジャパンフォーレスト(株)、二胡工房 光舜堂、NPO法人木づかい倶楽部、(有)栗尾衛生社バイオマス事業所



概要
 中国の伝統楽器「二胡」を樹齢800年の頼朝杉(2012年9月、静岡県島田市で倒木)で製作。里地帰(さとちき)という二胡奏者と、日本で唯一の二胡製作者・西野和宏氏の協力で作成した本製品は、きめ細かい木質にふさわしい優美な音色で、『和胡』と命名しました。「視聴覚による木づかい活動」の新しい方向性として、今、里地帰さんのライブの最後には和胡誕生の経緯と共に演奏をしてもらっています。

◆仕様:全長83cm、木製部分に樹齢800年頼朝杉採用、価格:3,000,000円(税別)、入手先:ジャパンフォーレスト株式会社 <http://www.japan-forest.co.jp/>

評価ポイント 倒木した樹齢800年の杉の物語は奥深く、それに由来する楽器と音楽を通じて、木を育て使うの意味を伝えようとしている。